

【一般演題2】 第7席

「杉山真伝流百方鍼術に関する考察」

大阪 宮川 隆弘

杉山流鍼術に関する鍼灸書はこれまでに、『杉山流三部書』をはじめとして何種類かのものがある。『杉山流三部書』以外は、抄本として伝わっていることは既に周知のことであり、現在その内容を確認することも比較的容易である。とりわけ杉山流鍼灸書の中で、「杉山真伝流百方鍼術(以下、「百方鍼術」と略す)は、存在は確認されているものの、現在その内容について発表された論文・解題は無いといっても等しい。本書は昭和8年に油印本として出版された。又、本書とその出版をした神戸延命山鍼灸専門学校出版の教科書『高等鍼灸学講義』鍼治篇・灸治篇には「百方鍼術」の内容が含まれている。本書も日本語の原書は亡失しているようである。その消息は確認できない状態であるが、中国の翻訳版が1930年に出版されていた。これらの内容を検討すべく、両書とこれまでに伝わっている杉山流鍼灸書に関して一連の比較検討を行った。

検討した内容は、以下のことである。

1. 『百方鍼術』について
2. 『高等鍼灸学講義』の内容について
3. 『高等鍼灸学講義』の「百方鍼術」の内容について
4. 『百方鍼術』と杉山流鍼灸書の関連について
5. 『百方鍼術』と内容の類似する杉山流鍼灸書との比較
6. 『百方鍼術』の存在価値について